

金

髪

清楚

シスター

堕ちる



ここは
小さな村の
修道院

シスターの仕事は
多岐にわたり

神に仕える崇高でとても
やりがいのあるものです

そして私は
シスター・リアス

おーい、シスター

修道院は孤児院も
兼ねていて

身よりのない子を
育てています

さっきそこできれいな
石拾ったんだ！みてよ

ねえシスター！

あら、リスくん

彼は孤児院の最年長で
みんなのまとめ役的存在
リスくん

がや





かわいい

子供たちは
みんな元気で

私まで元気を分けて
もらっている気がします



とにかく約束だからねっ



付き添いには
冒険者のタムリさんが
同行してくれ

道中の獣やモンスターから
私を護衛してくれます

ええ、今日も護衛
任せてください

そうなんですネー

近隣の村の依頼を受け
近くに沸いたアンデッドを
浄化するお仕事です

あの洞窟は
あまり強い魔物がいない
のでサクサクですよ



聖職者としての仕事として
アンデッド浄化というのが
あります



それに...
シスターと一緒にいれて

その...うれしいって言うか
グニャグニャ



いつもありがとうございます
ございます

いえいえ

お安い御用ですよ

え？
なんですか？

いえ…

その…行きましょうか

体つきはがっしり
していて頼りがいが
ありますが

内面はとてもピュアで
優しい方です

グイッ

優しい人たちに
囲まれて

幸せな
毎日をこれからも
過ごせるといいな

なんて
そんなことを
思っていました

最近妻と
喧嘩がちでして

前はそんなこと
なかったのですが…

シスターのお仕事に
懺悔を聞く
というものがあります

今日は
村の男性からです

彼はピピンさん

村で農業をやっています

よく近くを通りかかると
いつも挨拶してくれる
穏やかそうな方です

最近隣村から
奥さんを迎えたよう
です

きっかけは
あったのですか？

ええ、
お恥ずかしい話ですが

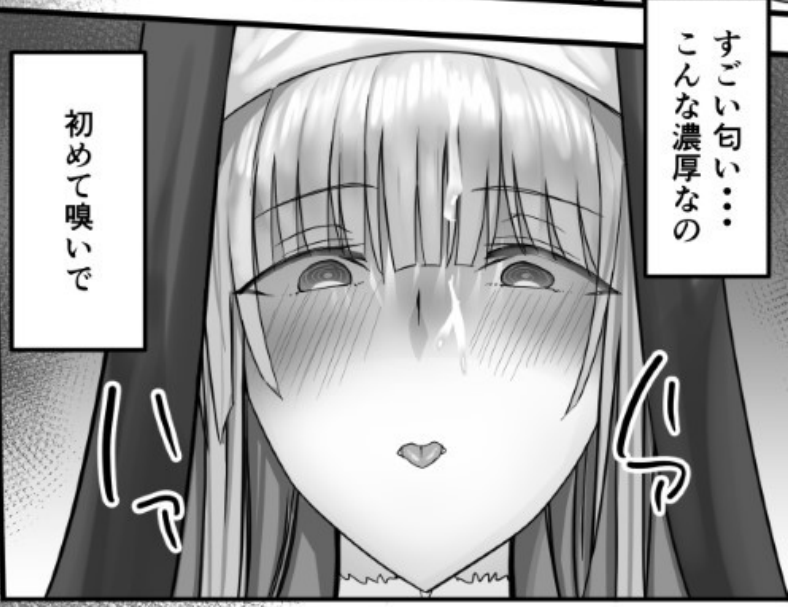
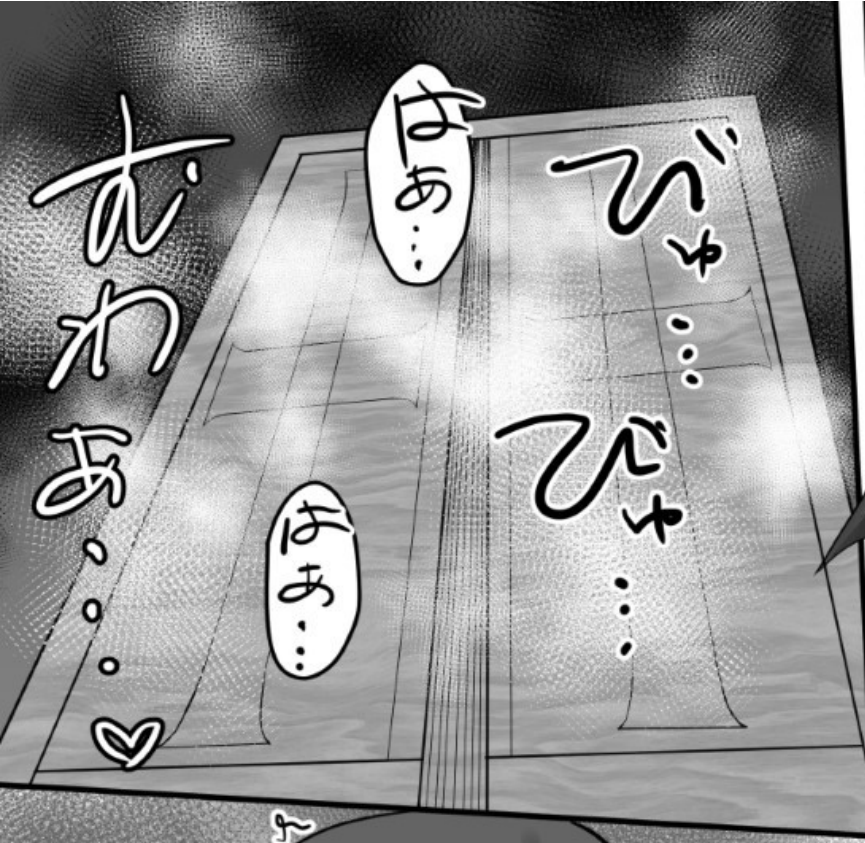
体質的に性欲が強くてですね

我を忘れてしまうことがあって
それで失敗をしたみたいで

それ以来私のことを
怖がるようになって
しまいました…

私たちシスターは
節制禁欲を貫いている関係上
こういった話には疎いのですが…

懺悔に対して
真摯に向き合うことが
正しいことですよ…！



もしかして
このフェロモン臭は…

発情してるんですか？

ガッ
タッ

むゅっ
むゅあっ

もあ…

私の精液の匂いで…

もぢゅ…

え…あつ

私こういうことに疎くて
こんな事初めてで…

どうしたらいいか
わからなくて…

シスター
顔をこちらに

？

ぶぢゅ



なにこれっ...!
これがキスっ

ちゃっ

むちゃ
こんないきなりっ

生暖かな舌が
入り込んできて

レロ...

気持ち悪いはずなのに



さつきから
胸のドキドキが
止まらなくて

はあ...はあ...
ミスターの口の甘くて
興奮する...

ちゃっ...
くま...くま...

頭が真っ白になって
何も考えられなく
なってる...♡



シスター
服をたくし上げて

でも、抗えないー



これ以上
気持ちよくなったら

ダメな気がする...

はあ
あっ!!



思った通りだ……!

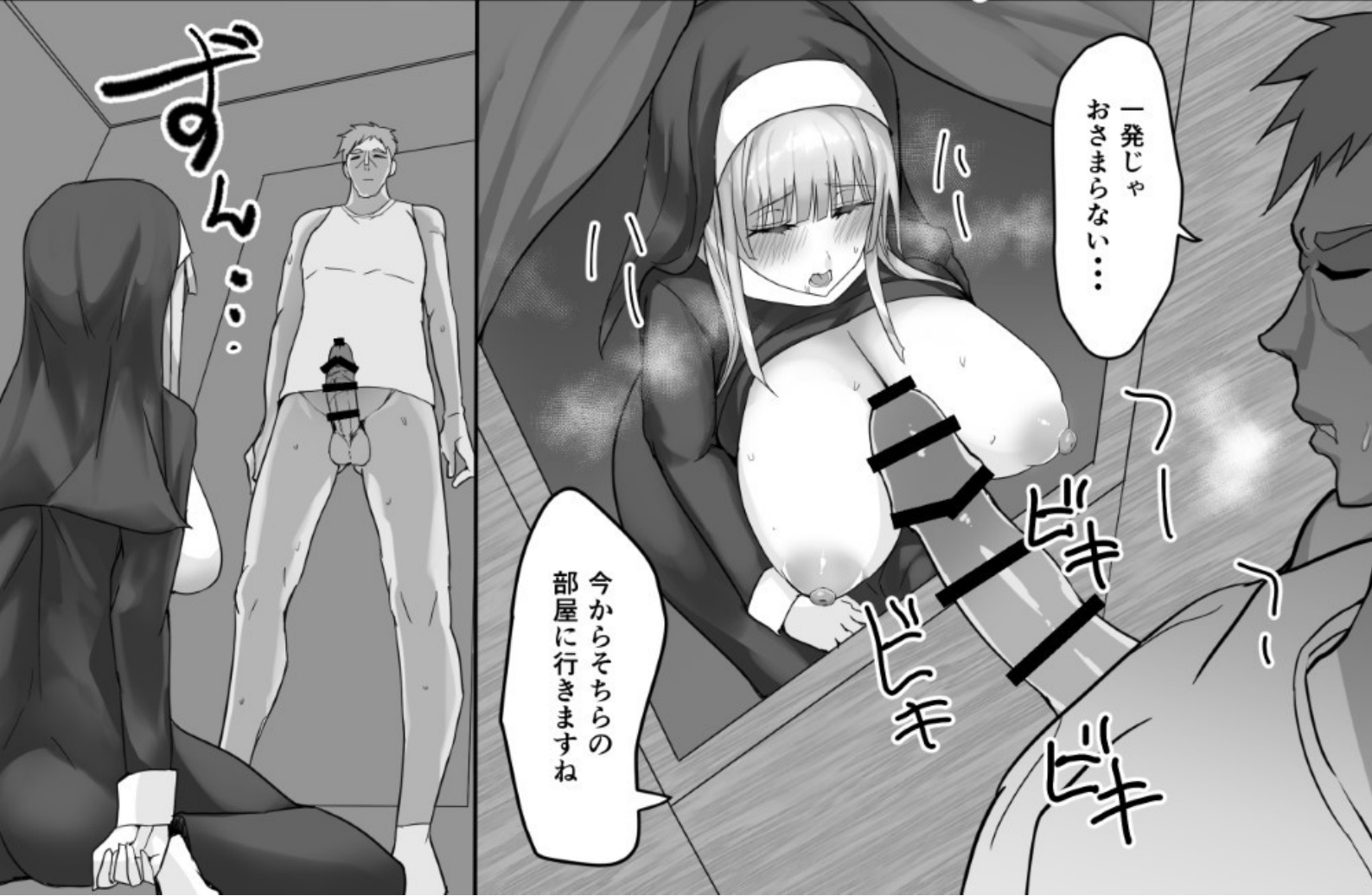
私の罪が、邪悪が
流れ落ちてゆく!!

シスターの神聖な乳で
挟まれるとそれだけで

シスター!
私の中の悪いもの全部
出しますよ!

受け止める







あっ...

...

ジュ、ジュ、ジュ

それだけじゃっ

いけません...

ん...♡

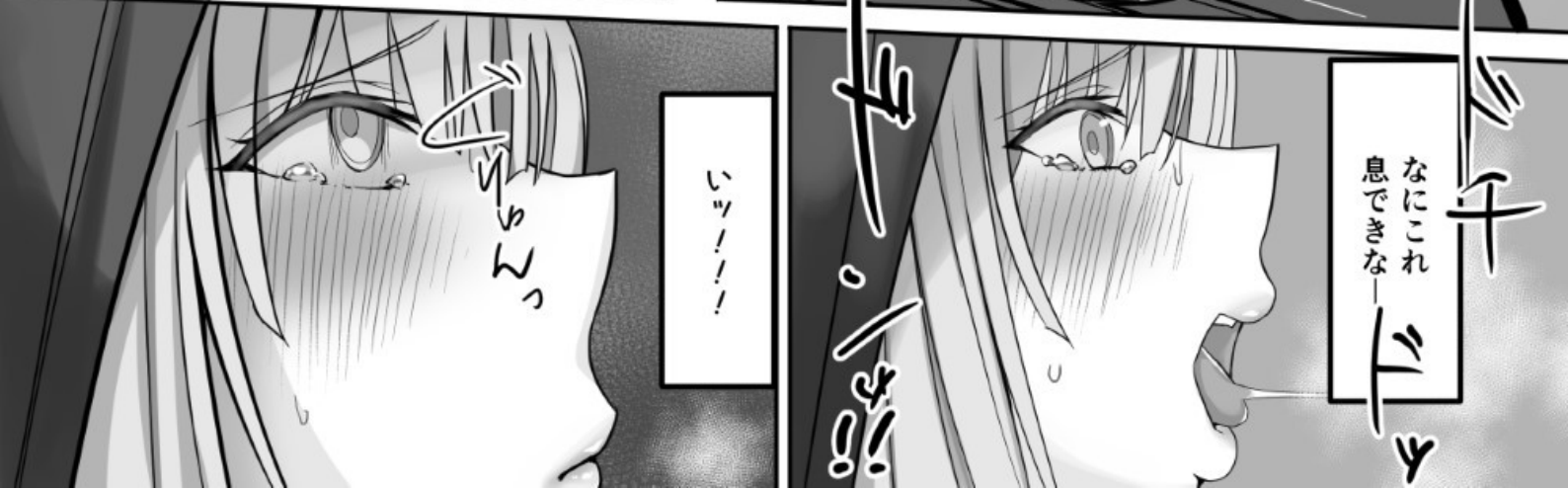
ちゅ



シスターの膣内が！

私の異常にまでかい
マラ棒を包み込んでくれている！

まるで天使様だ！



なにこれ
息できな

んーっ

これは…私じゃないんだ…!
私の中の悪魔が…勝手にっ!

シスター…
許してくれっ…!!

ぶちやう

ばちやう

びちやう

…

ピンさんどうして…

シスター
助けてくれ!!

こんな乱暴するような
人じゃないのに……

彼の言ってることが
何一つわからない

私の中の悪魔が
暴れている！

ト
ッ

トキ

ト
フ
ユ
リ

わん

あふ

お、あ、あ...
スか？
気持ち

75

100

れろ

信

3

れろ
れろ

シスターの中に
邪悪を解き放つ

好
天

びん

ち

しっかり
受け止めてくれよ！

19
T₂

19A₂

1914

10
x₂





あれから
というもの

シスター、ここで
一旦休憩しましょう

不意にあのときの
ことを思い出して

もしもし

えっ

先日の
ビピンさんのことは
誰にも相談できず

アンデッド退治の
依頼中だというのに

ポー

シスター？

ま、また私ポーツと
しちゃってました？

ごめんなさいっ

時々呆けている
自分があります

その……さ

お金が貯まったから
家を買おうと思うんだ

でも独りじゃ
広いっていうか

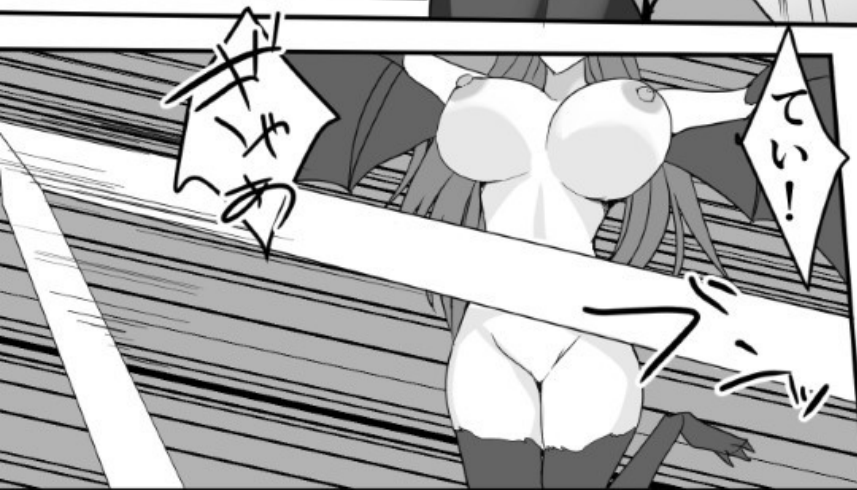
シスターさえ
よかったら
なんだけど……

タムリさん
なにか……

え？

あいつは……！

ツァキッ





あれっ

神術が
つかえないっ

シスター……っ
もう限界だ！

どうして

シューウウウ…

俺から
離れて！



いい…ですよ

はぁっ

私またあの時
みたいに

私の身体で
性欲をお鎮めください

むちゅ…っ

気持ちよく
なれるんだ…



あんなにおつきく…

痛そうなくらい
膨れあがってる

ビビンさんに
植え付けられた快楽を
思い出しちゃう



シスター！
早く！

君にひどいこと
したくないんだ！

シスターとこんな
なんて…だめだ

こうなって
しまったのは
私のせいです

自分を許せなくなる…

自分を責めないで
ください

一緒に気持ちよく
なりましょう…♡

我慢しないで
いいですよ

ズキン
ズキン
ズキン

シスター！

ガバーッ
ぎゅっ

すごく激しいキス

ずっと好き
だったんだ

びちゃ

抑えが効かないよ！

求められてる…

ぐわい



はあっはあっ
シスターのくちびる
やわらかいっ

ここがシスターの
大事なところ...

キスだけでこんなに
なってるなんて...!

なんて大きな乳房だ
もみごたえがすごいっ

タムリさん...!
そこは...っ



うわあ...っ
指がすごい
締め付けられる!

ここが気持ちいい
ところなのかい?

そこだめっ...
あ...っ



シスターのから
汁どんどん溢れてくる



すごいっ



僕の指を
ちんこと勘違いしてる

イけっ!



うんうん



ずっと憧れていたシスターと...



ずっとこれが
欲しかったんですっ♡♡



いいですっ♡



いつも優しい
タムリさんが

きすくさいっ

私のおまんこで
理性をなくして

獣みたいになっ
て一心不乱になっ

きすききいんですっ♡

セックスに
夢中になってる♡





もうセックスのこと以外
考えられなくなっちゃう...

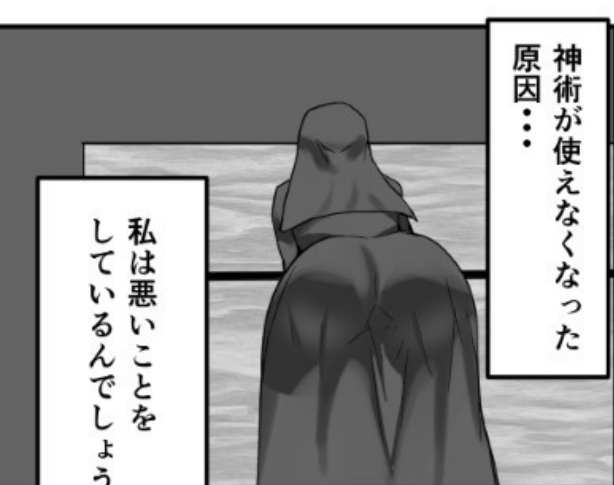


し、シスター!

もうシスターに
近づいたりしない
から...

神様許してくれ!

よりによってシスターと
姦淫の罪を犯してしまう
なんて...

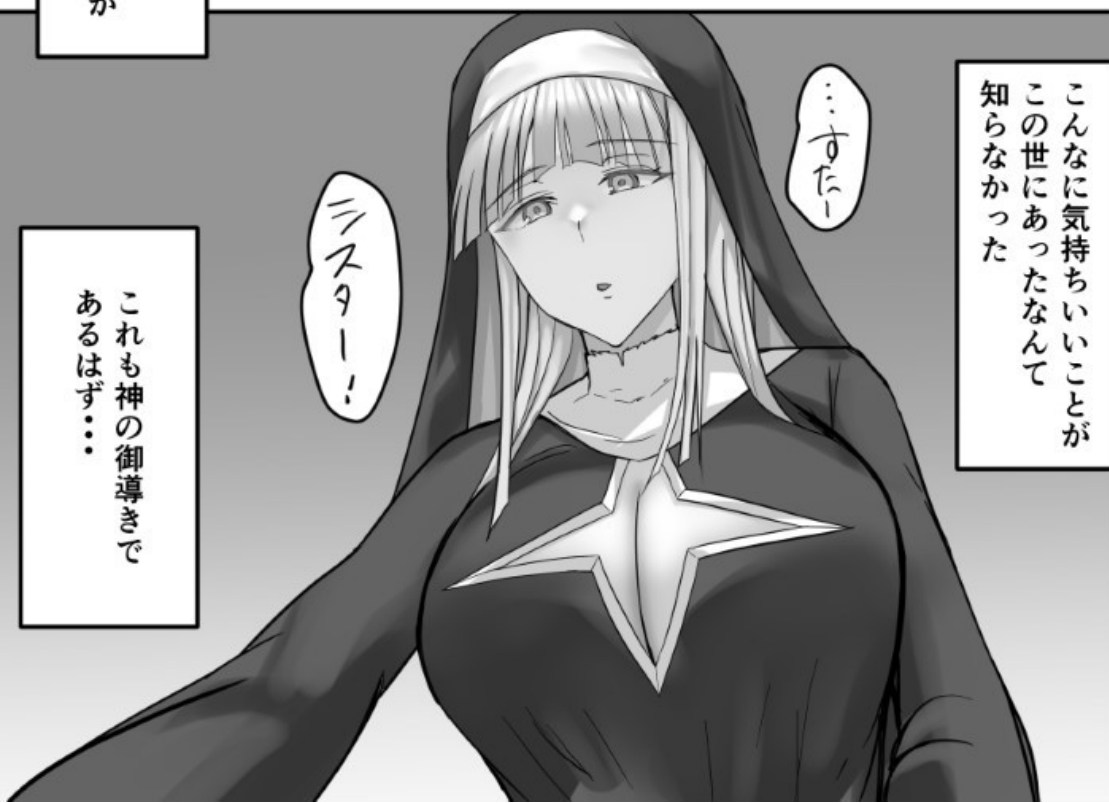


神術が使えなくなった
原因...

私は悪いことを
しているんでしょうか



はあ



...すたー

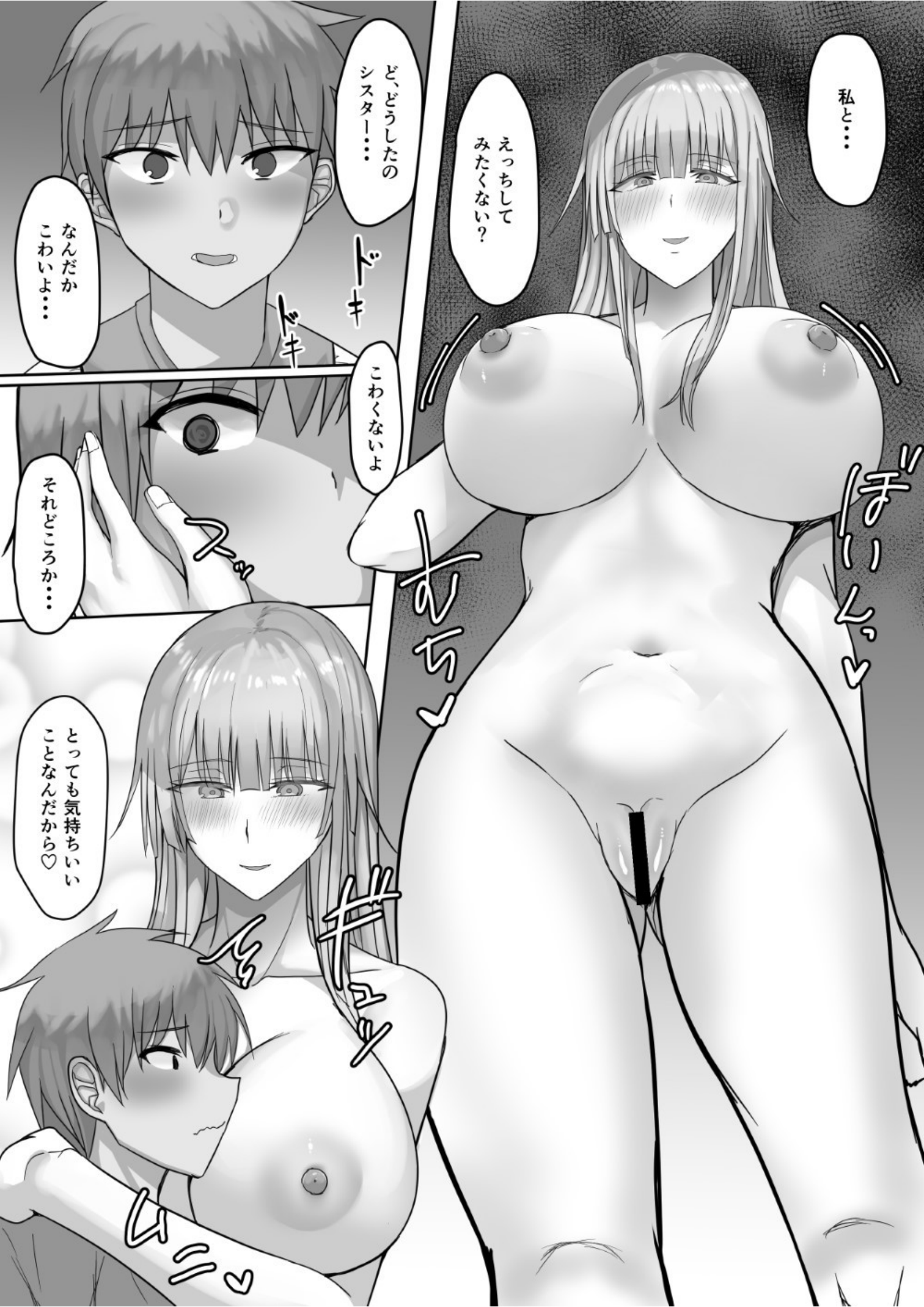
こんなに気持ちいいことが
この世にあったなんて
知らなかった

シスター!

これも神の御導きで
あるはず...







私と...

えっちして
みたくない？

ど、どうしたの
シスター...

ドキ

こわくないよ

なんだか
こわいよ...

それどころか...

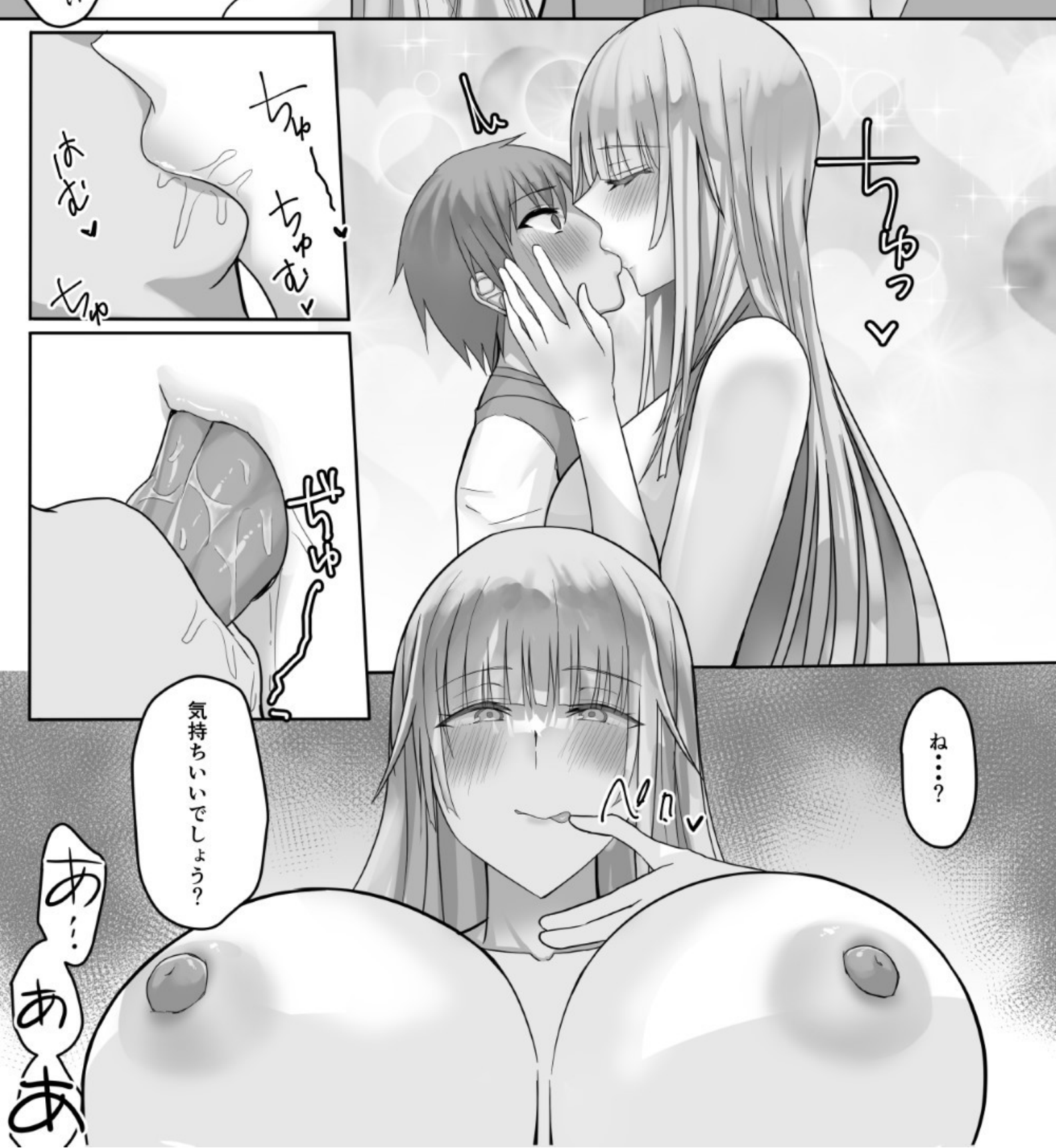
とっても気持ちいい
ことなんだから♡

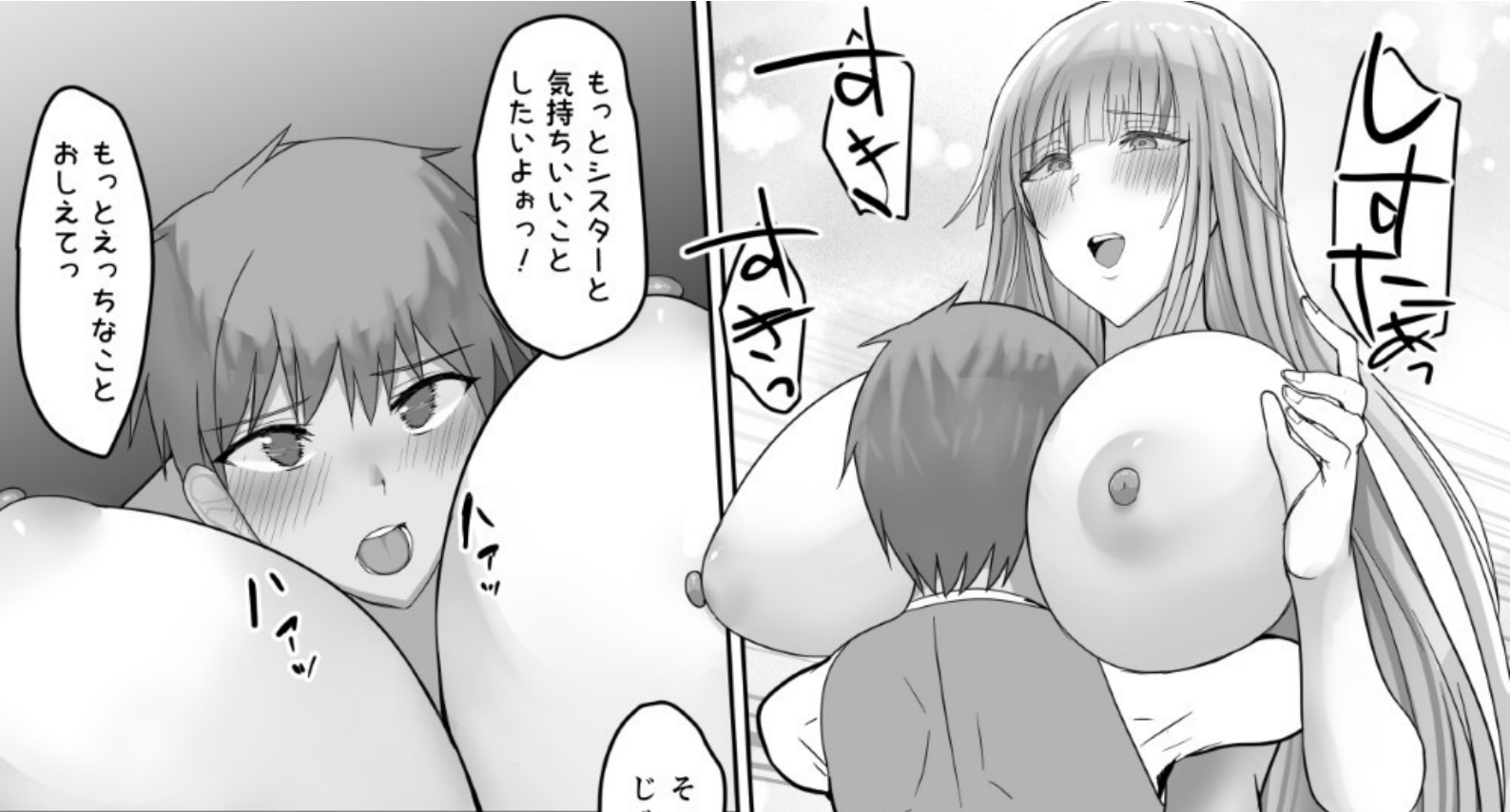
ぽいん、

あち

フュッ

ムニ♡





もっとシスターと
気持ちいいこと
したいよあつ!

もっとえっちなこと
おしえてっ



そっかあ♡
じゃあ...

リスくんのおちんちん
みせてくれるかな?

...うん



そんなみたら
はずかしいよ

えーこんなに
かわいいのに



おちんちん
どうするの...?

ふふっ

これをね



しすたー
そこきたなっ…



うああっ!!

えいっ♡



あー



えんりよせず
くちにだして♡

きたなくなんかないよ



ああっ!!



しすたあ…!

おちんちんが
あつくっ

なんかでちゃ…っ
う!!

じゅっ♡





なんかっ
電気がびりびりって！

はあ
はあ
はあ

はあ
はあ
はあ

頭が真っ白
になって！

こっちの穴で
ずぼずぼしたら

もっと気持ちよく
なれちゃうんだよ……♡

そんなに
気持ちよかったんだ！

でもね……

クチャ
クチャ♡

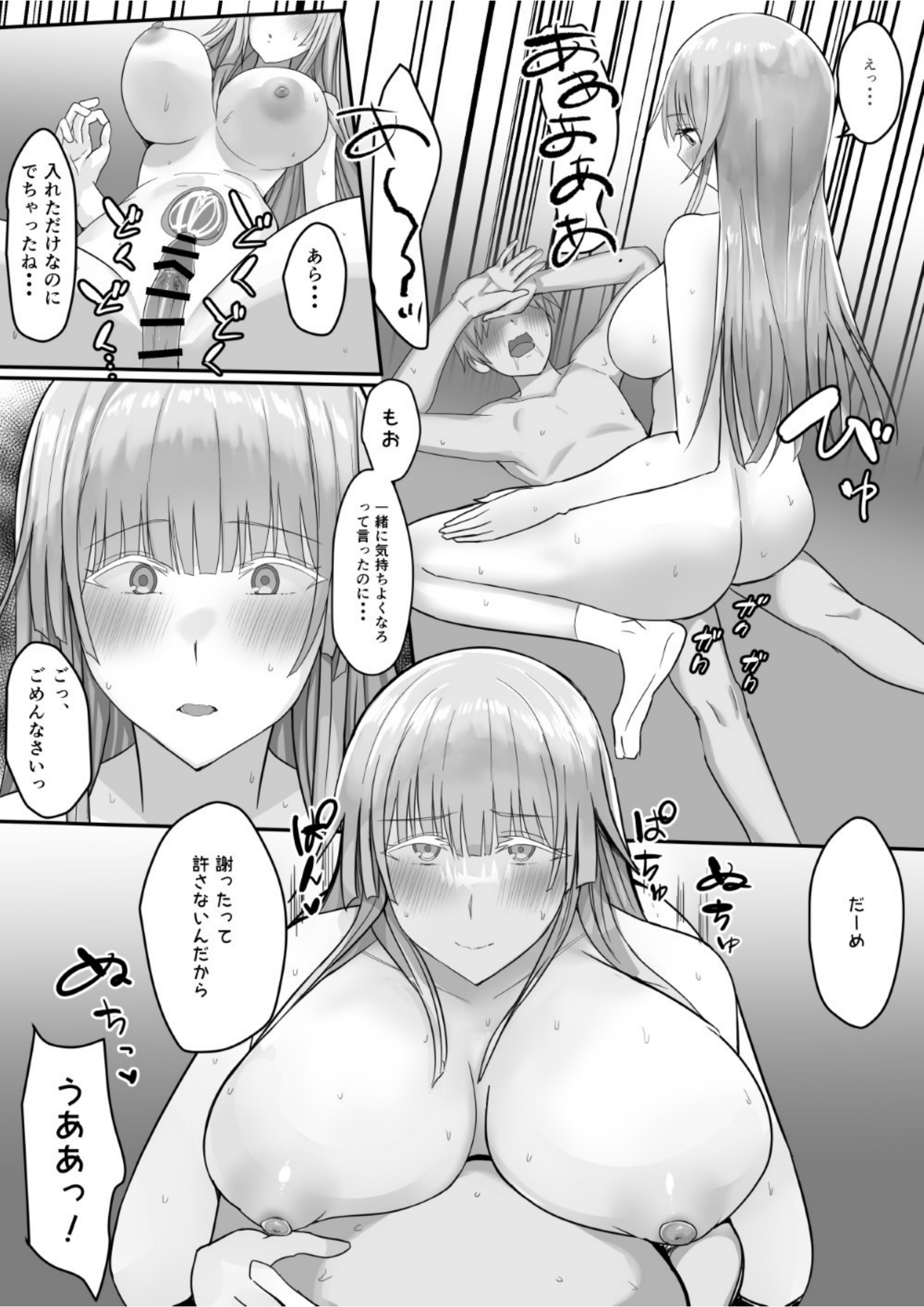
え
あ
え
え

う
あ
あ……

う
う
う……

び
び

あ
あ
あ……



えっ...

あめあめあめ

あら...

入れただけなのに
でちゃったね...

もお

一緒に気持ちよくなろ
って言ったのに...

ごっ、
ごめんなさいっ

謝ったって
許さないんだから

だーめ

ぬちゅ

はちゅ

げん

ぬちゅ

うああっ!

ほおら♡

口あけて
舌出して

れー♡

あ～

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ

はっ
はっ
はっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

出そうなんだね

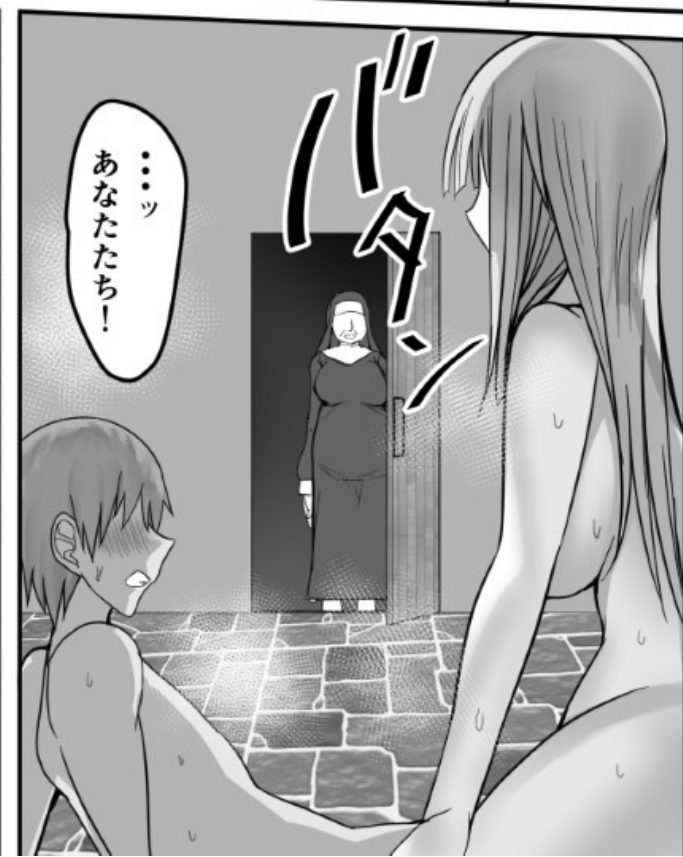
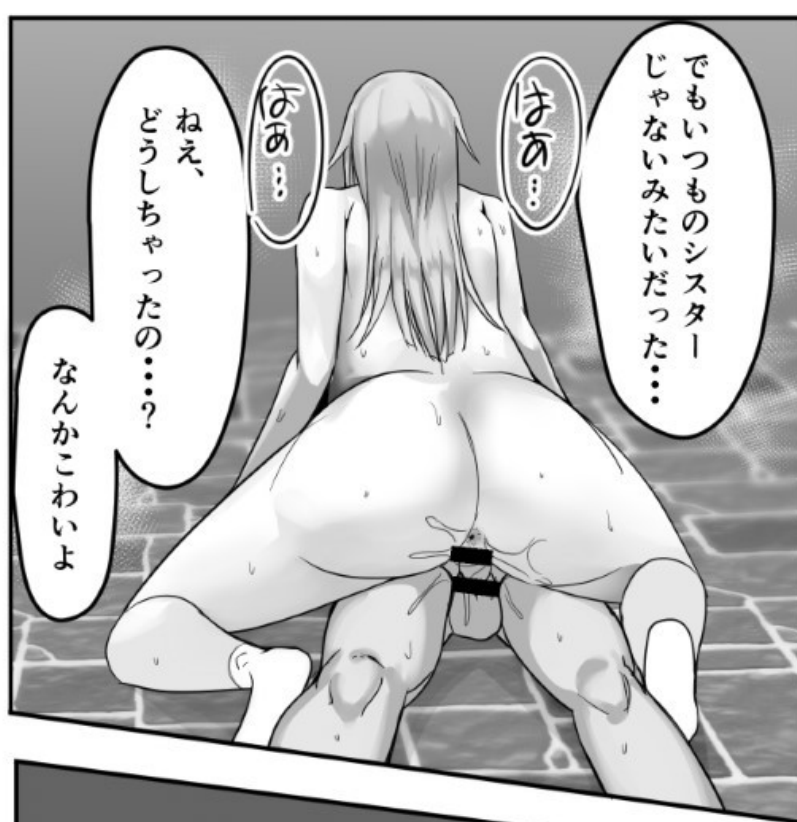
たくさん
出してっ♡

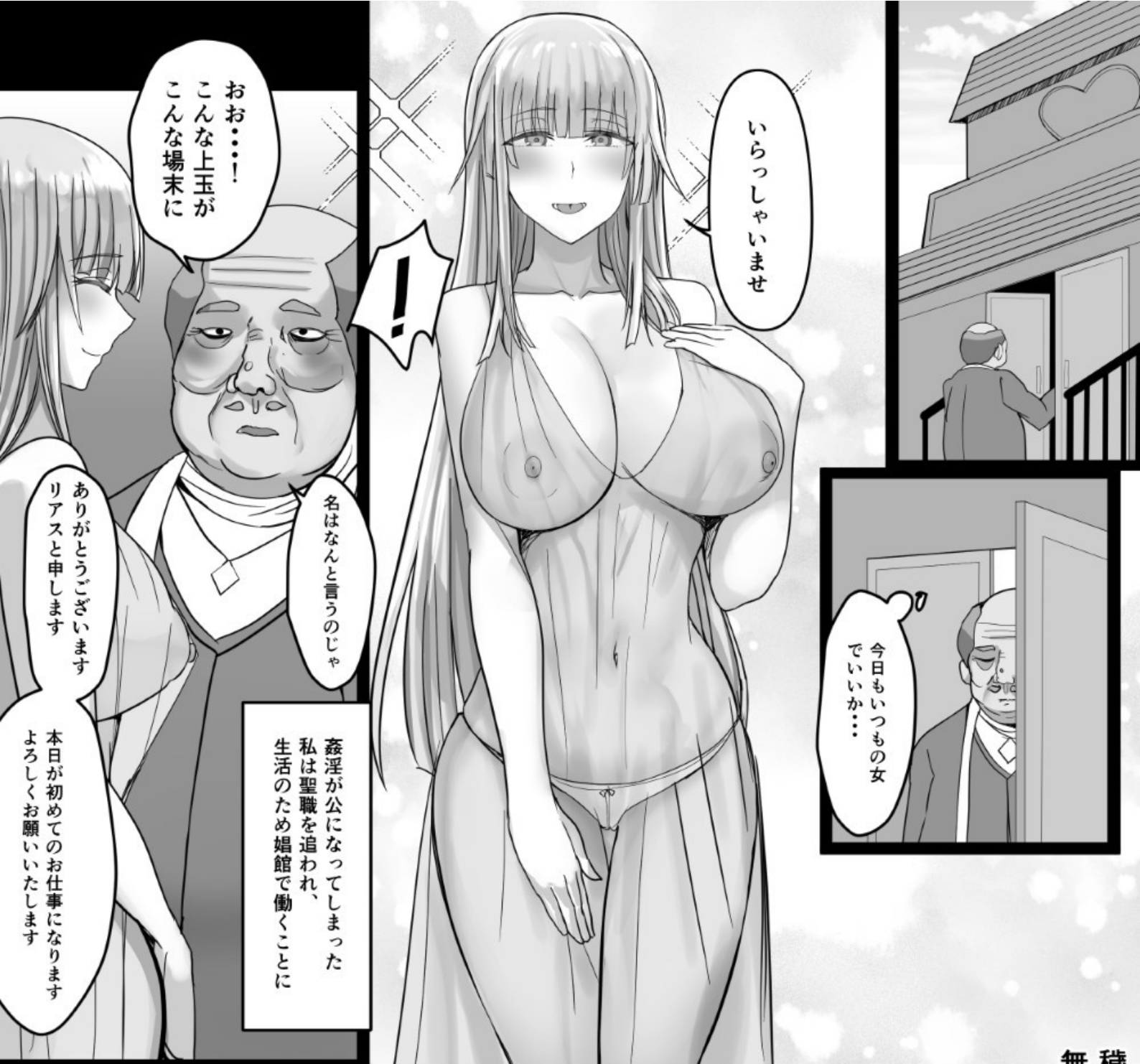
うふふ

うふふ
うふふ
うふふ

うふふ
うふふ







いらっしやいませ

おお・・・！
こんな上玉が
こんな場末に

！

名はなんと云うのじゃ

姦淫が公になってしまった
私は聖職を追われ、
生活のため娼館で働くことに

ありがとうございます
リアスと申します

本日が初めてのお仕事になります
よろしく願います

今日もいつもの女
でいいか・・・

穢れを知らない
無垢な笑み

透き通るような声

男好きのする
形のいい豊満な乳房

ほんのり桜色の乳輪

すべてがわし好みじゃ

わしのものにしたい・・・

最初は
清潔感のない
ただの老人と
思っていました

ものすごいテクニックの
持ち主でした

お前わしのものに
ならんか

なんという名器…

もう何回も
イカされて
しまってます

嫌といっても
店に言いつけて
貴様を連れて帰るがの

わしのものになったら
今はこのピンク色のまんこを

真っ黒になるまで
使いつくしてくれるわ

やだ

楽しみすぎて
今から興奮が
とまらんわい

いやだ…

どれ、口の味見
もしてみようかの

生理的な嫌悪感が
いままでの比じゃない

ずっと吸ってたく
なる口じやの

男を興奮させる
悪い口じや

わしが独占しないと

気持ち悪い…

んんーやはり
美味じゃ

くさい…

ほれ
舌をださんかい

どうやら老人は
小さな村の領主で

娼館のオーナーとも
古い知り合いだとか

こうして
買われた私は

老人の妾として
可愛がられることに...

村は辺鄙なところにあり

本当にのどかな場所でした

もちろん
それ以外の時間は...

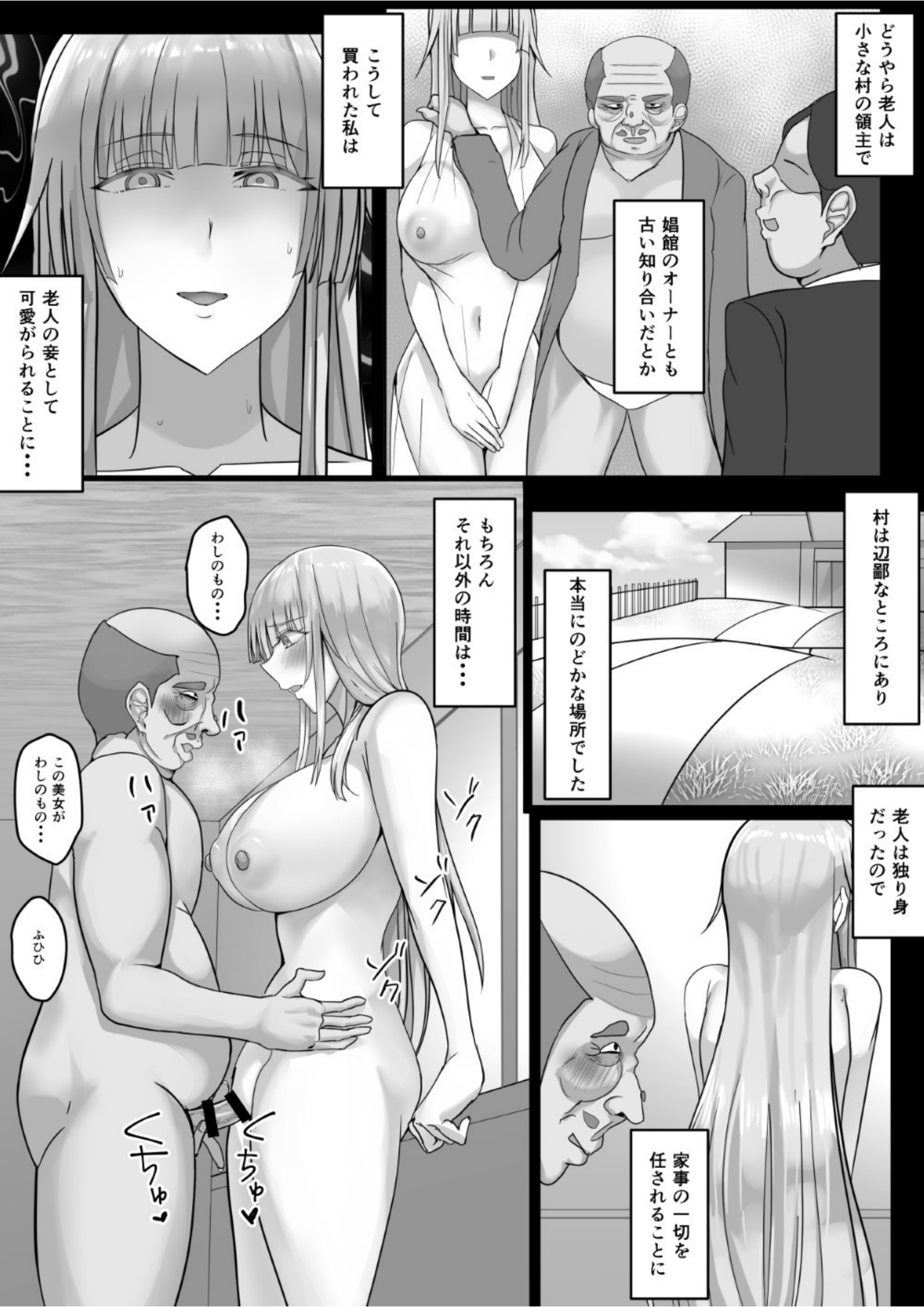
わしのもの...

この美女が
わしのもの...

ふひひ

老人は独り身
だったので

家事の一切を
任されることに



老人は一日に十回は
射精できるほどの絶倫で

睡眠時間を削って
毎日行為にふけています

ほれ顔をこっちに寄せんか

回数を重ねるうちに

セックスのときは
必ずベロチューしながらと
教えただろう

あれだけ不快だったキスも

おおほっ！

今日も最高の締めまりじゃ

年甲斐もなく
張り切ってしまうわい

慣れてしまった
それにー

お前は本当いい女だ

わしの言うことを
なんでも聞かし
わしを気持ち悪がらない

妻は死んだ
と言ったがな

逃げたんだ

えっ

わしの金を持って
若い男と逃げおった

女は何を考えて
いるかわからん

老人に同情的に
なってしまいました

共に過ごすうちに
事情を知り

その点お前ほど
心のきれいなもの
は見たことがない

わしの子を孕め

そうすれば
わしの妻にしてやる

にゅ にゅ...

んっ





セックス漬けの
日々が始まりました♡



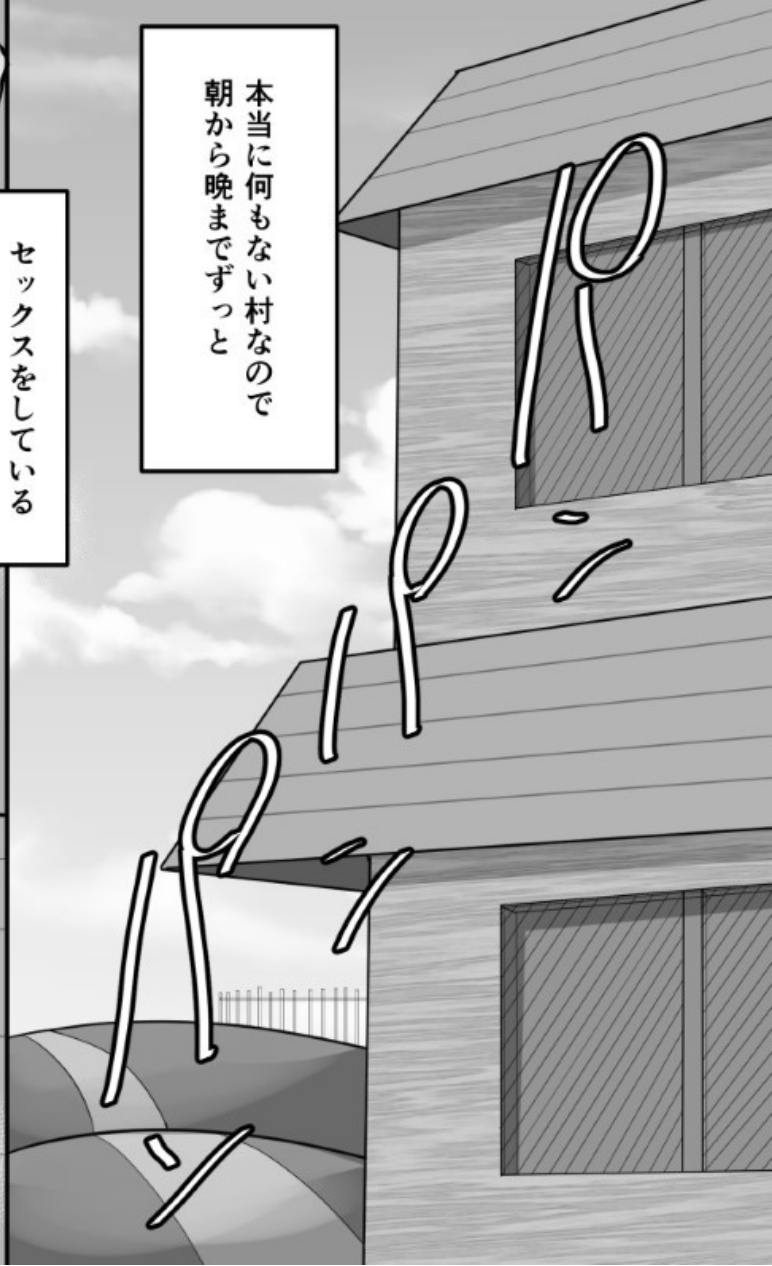
そこから先は
墮落に満ちた生活でした

寝たいときに寝て

セックスしたく
なったら
セックスする

食べたいときに食べ

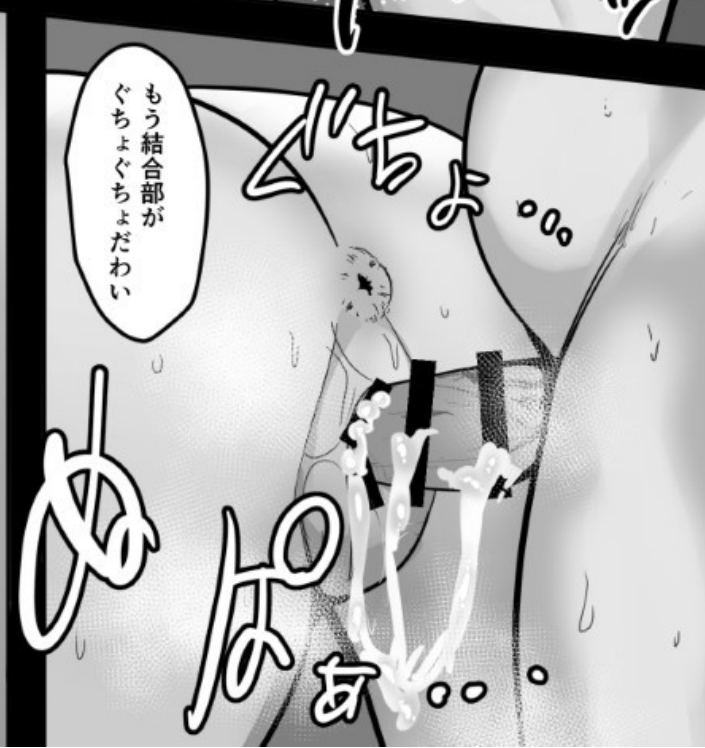
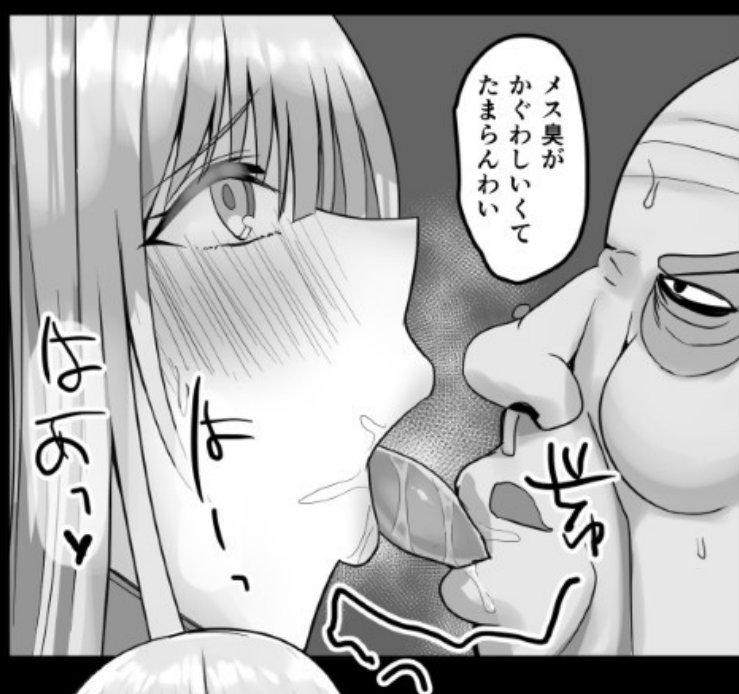




本当に何も無い村なので
朝から晩までずっと

セックスをしている
だけの日というのは

珍しく
ありませんでした





旦那様は
絶倫ではありませんが

どちらかといえば
私のほうが
セックスに旺盛でした

年齢的なものもあって

今日は何回射精したかの

さすがにそろそろ
きつくなってきたわい

精力的には
私のほうが

勝
っ
て
い
て

9回目です

そうか、よく
覚えておったの

褒美にとびきり
濃いベロチューを
してやろう

口を開けなさい

はいっ

これ

あたまがくらくらしてくる

きす...

ちゃぽ

ちゃぽ

ちゃぽ

ぬとー

なっがあ...♡



10分後

べろちゅーの間に
もう精子つくり
おったわい...

9回出して
空になったはずなのに

はー

はー

はー

いまから
作ったもの全部

お前の中に
注ぎ込んでやるからの

膣内が
とろけきって
おるわい

うおっ
沈み込む

じー
やー
うー

ほんとうに
いい買い物
したものだわい

これはわしのじゃ…
一生手放すものか…

そろそろ射精すぞ
子宮口あけろ！

あれだけ
嫌そうにしていた
キスも

精子のぼってきたわい

いまでは自分から
せがむように
なってきたおる



そんな生活を
続け1年余り

ほほお…

美人のお前と
不細工なわし

はい

だいぶ大きくなってきたのお

子供は最低10人は
欲しいから

どちらに似るのか
楽しみじゃ…

まだまだ
お前には頑張ってもらう
ことになりそうだのお…

ホッ
ホッ
ホ

たまのほうさ
金髪清楚シスター、堕ちる
aisatsuohayou3@gmail.com